

平成30年度（平成30年7月～平成31年3月）  
タクシー初乗り運賃分乗車券付き  
能美市コミュニティバス定期券（シニア、免許返納者）  
の社会実験事業の実施について

---

目次

---

実施目的について.....	1
タクシー初乗り運賃分の乗車券付き能美市コミュニティバス定期券(シニア、免許返納者対象)の社会実験事業の運用について .....	4

## 実施目的について

### 実施目的

#### ■ 能美市の公共交通の概要と取り組み

能美市内を運行する公共交通機関は現在、市内外を結ぶ広域交通機関であるJRや路線バスと、主に市内各所を結ぶコミュニティバス「のみバス」やタクシーが運行しております。その中でも、市内各所を結んで運行する「のみバス」においては、高齢者と通勤・通学者が主な利用者としてご利用いただいております。今年度は高齢者用の定期券である「シニアパス」の年齢緩和や、県立寺井高校生用の定期券の新設など「定期利用」の促進に努めて参りました。

#### ■ 市民の皆様の声と課題

平成28年度に実施しました、65歳以上の市民を対象にした移動実態調査や、今年度実施しましたタウンミーティング等では、特に高齢者の方より、コミュニティバスの便数や、運行経路の改善要望、デマンド型の移送に対するご意見を多くいただきました。その中でも、大きくご意見を分類しますと、「コミュニティバスでは、行きは良いが、帰りは都合の良い時間にバスが無い」といった行き帰りの利便性に対する声や、「重たい荷物を持ってバスに乗車して帰る事が大変である」といった身体的な不都合さに対する声が多く挙がっており、こうした声に対する対策が喫緊の課題となっております。

#### ■ 能美市の公共交通が担う役割

能美市が考えます、公共交通の担う役割は、特に高齢者にとっては、いわゆる自家用車による「ドア・トゥ・ドア移動」とは違い、適度に歩いて外出する事で得られる健康増進効果や、地域に出てコミュニティに参加する社会参加の促進、そして、買い物や病院等の日常移動に対し不安なく暮らせる住環境の確立といった、地域の振興に欠かせない役割を公共交通の整備を通して、持続可能な形で提供する事です。

#### ■ 新事業の目的と効果

今回、市民調査やタウンミーティング等で市民の皆様から頂いた声を基に、特に高齢者の方における

- ① 公共交通の利便性を向上させることでのコミュニティバスの利用促進を図る
- ② 移動における行き又は帰りの便の不都合さを補足する移動手段を確保する
- ③ 買い物目的の「のみバス」利用者が多いことから、高齢者の方が荷物等を持って移動する際の負担を軽減する

公共交通による移動の不安解消や、利用促進を目的に、コミュニティバスの定期券（現在のシニアパス券と免許返納者用パス券の対象者）にタクシーの初乗り運賃分の乗車券を付けた併合定期券の運用を、社会実験事業として平成30年7月より9か月間実施したいと考えております。

委員各位におかれましては、本施策の趣旨を十分ご理解いただき、能美市地域公共交通会議の協議事項案件として、実施の可否について協議をお願いするものです。

**参考資料**

高齢者の方々を取り巻く実態（各種統計資料）や、公共交通に対する市民意向に関する参考資料

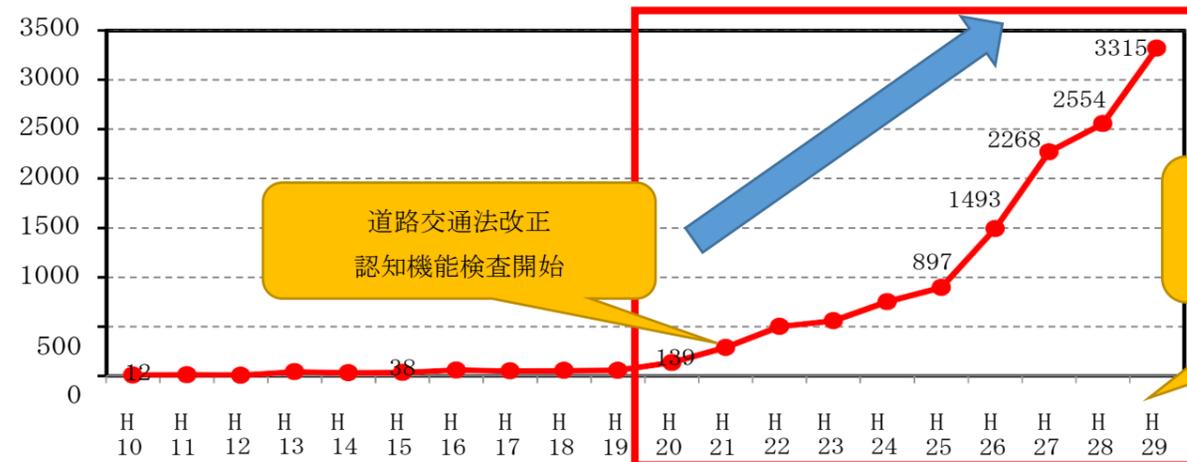
(1) 能美市 65歳以上人口（平成30年3月1日現在） 12,560人

人口	男性	女性	合計
65歳～69歳	1,623人	1,784人	3,407人
70歳～79歳	2,584人	2,886人	5,470人
80歳～89歳	1,106人	1,791人	2,897人
90歳以上	186人	600人	786人

75歳以上の後期高齢者が今後急速に増加する予測  
2020年には、2015年比で124%まで増加（能美市人口ビジョン）

(2) 石川県運転免許証自主返納者数の推移

自主返納件数の推移（グラフ）



道路交法改正 認知機能検査強化  
今後ますます返納者が増えていく予想

(3) 能美市の運転免許返納者数推移と年齢層

運転免許証返納	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
能美市	40人	69人	77人	90人	135人

年齢層別（平成29年）	65歳未満	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	合計
能美市	4人	6人	25人	26人	39人	35人	135人

増加傾向にある

70歳以上の返納者が多い

(4) のみバス シニアパス券、免許返納者用パス券販売・発行枚数推移

定期券販売・発行枚数	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
シニアパス券	258 枚	266 枚	289 枚
免許返納者用パス券	173 枚	213 枚	255 枚

シニアパス券、免許返納者用パス券共に販売・発行枚数が年々**増加傾向**にある。(のみバスを利用する高齢者の増加)

※平成 29 年度は 3 月 7 日現在

(5) 平成 28 年度高齢者移動実態調査 (のみバス利用者アンケート、タクシー利用制度による外出への動機意向)

利用目的	割合
買物	25.2%
病院	21.1%
風呂	18.5%
教室(体操教室等)	9.3%
市域外の用事(通学通勤除く)	7.3%
通勤	6.6%
図書館	4.0%
通学	2.6%
市役所	2.0%
その他	3.4%

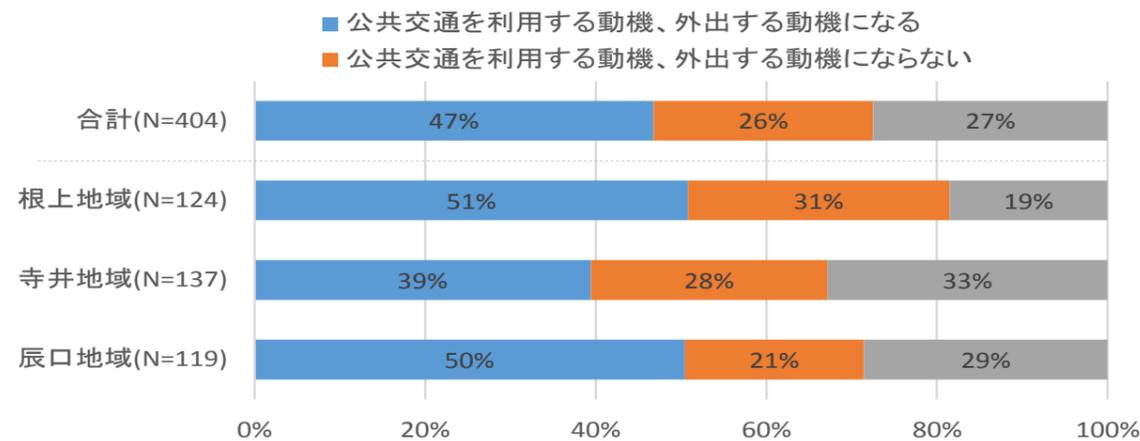
アンケートの回答は高齢者が多数を占め、買物や病院、風呂、教室等の日常利用が多い

●のみバスの利用で不都合を感じる点は

不便な点	割合
行き又は帰りの便の不都合	43.0%
便の時間帯の不都合	21.0%
ルートの不都合	14.0%
利用環境(待合場等)	6.0%
特になし	16.0%

のみバスの便数や時間帯等の不満が多い

タクシー利用補助があった際の公共交通に対する利用意向 (平成 28 年度実施 高齢者の移動実態調査より)
<p>【合計】 65 歳以上市民 回答分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「公共交通を利用する動機、外出する動機になる」が最も多く 47%を占めている。</li> </ul> <p>【地域別】 回答分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>寺井地域では「公共交通を利用する動機、外出する動機になる」が 39%を占め、他の地域と比べて 11 ポイント以上低い、全体では約半数の 47%が外出する動機になると回答。</li> </ul>



(6) タウンミーティングでの市民のみなさんの声 (公共交通に関する意見のまとめ)

分類	意見数
のみバスの便数やアクセス等の改善	25
電車やバス等公共交通全体の便数やアクセス等の改善	10
デマンド型交通やのみバス車両小型化への改善	10
タクシー利用の補助	3
将来の移動に対する不安に対する改善	5
高校生の通学環境の改善	4
自家用車に頼らない移動環境の実現	3

アクセスの改善や、のみバスの利便性向上に対する意見が多い

<参考資料のまとめ>

- ・高齢者人口や、運転免許を返納する高齢者の方は年々増加しており、今後も急速な増加が見込まれる。また、シニアパスや免許返納者用パス利用も増加傾向にある。
- ・のみバスを利用する高齢者の方の移動先は、買い物や病院、お風呂など身近な用事における移動が多数を占める。
- ・タウンミーティングや市民移動実態調査では、のみバスの便数や、アクセス等の利便性向上に関する意見が多い。
- ・昨年度実施した市民移動実態調査では、タクシー利用に対する市の措置があった場合公共交通を利用して外出する動機になると回答した方が約半数の 47%にのぼる。

# タクシー初乗り運賃分の乗車券付き能美市コミュニティバス定期券(シニア、免許返納者対象)の社会実験事業の運用について

あんしん移動サービス事業

## <事業イメージ>

連携バス路線図

- 緑線: 輪ルート
- 黄線: 日中ルート(北回り)
- 紫線: 日中ルート(南回り)
- 赤線: 日中ルート(直行)
- 青線: タ方ルート
- 黒線: 路線バスルート

のみバス NOMI BUSES

コミュニティバスの利用をさらに促進し、かつ、重たい荷物を持って帰宅する場合等にタクシー乗車券を利用し、移動の利便性を向上させる

**【社会実験事業の成果】**  
コミュニティバスとタクシー乗車券を併用し  
高齢者が「あんしん」して移動できるよう  
サポートし公共交通利用を促進

根上地区循環バス路線図

- 青線: 吉原倉庫方面
- 赤線: 赤井方面
- 紫線: 山口方面
- 黒線: 中ノ江方面

のみバス NOMI BUSES

寺井地区循環バス路線図

- 赤線: 栗生橋線
- 紫線: 長野橋線

のみバス NOMI BUSES

辰口地区循環バス路線図

- 赤線: 宮竹橋線
- 紫線: 和気橋線

## 1. 対象者

対象者は、のみバス「シニアパス券（3か月券）」と「免許返納者用パス券（3年分）」の対象者とする。

- ①シニアパス券・・・65歳以上の市民
- ②免許返納者用パス券・・・70歳以上の市民で、運転免許証を返納した者（3年分ののみバス定期券を支給中の方）

2. 料金体系

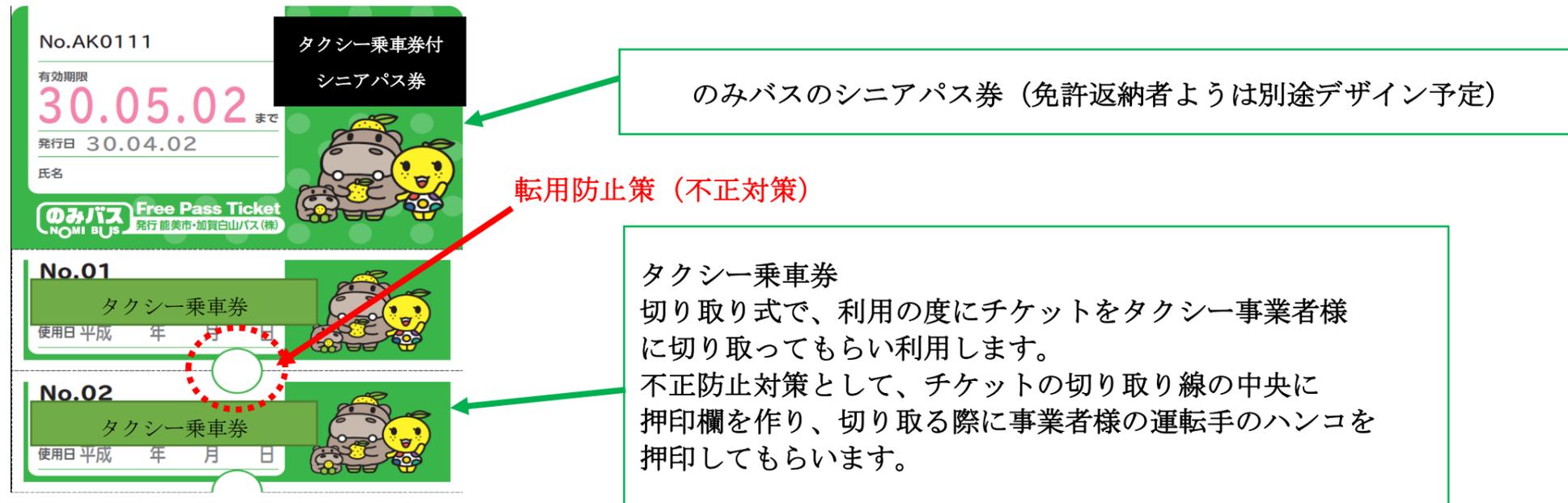
料金体系は、のみバスの定期券料金体系への追加として、北陸信越運輸局石川運輸支局様へ届け出を申請する予定です。

対象者	料金	利用条件等
65歳以上の市民 (シニアパス券)	①シニアパス券+タクシー乗車券(初乗り運賃分) 12枚セット(週1回利用) <b>7,000円</b> (※シニアパス券4,000円+タクシー乗車券3,000円) ②シニアパス券+タクシー乗車券(初乗り運賃分) 25枚セット(週2回利用) <b>10,000円</b> (※シニアパス券4,000円+タクシー乗車券6,000円)	◆タクシー乗車券の利用は、市内の乗降利用でのみ利用可能とします。(市外への移動、市外からの移動は利用不可とします) ◆タクシー乗車券は、シニアパス券の有効期間中のみ(3か月)利用可能とします。 ◆深夜料金、呼び出し料金は利用者負担となります。 ◆1回の乗車につき、乗車券1枚利用可能となります。
のみバス免許返納者用 定期券利用者 (70歳以上)	①タクシー乗車券(初乗り運賃分) 12枚セット(週1回利用)のみ販売 <b>3,000円</b> (※タクシー乗車券3,000円) ②タクシー乗車券(初乗り運賃分) 25枚セット(週2回利用)のみ販売 <b>6,000円</b> (※タクシー乗車券6,000円)	◆タクシー乗車券の利用は、市内の乗降利用でのみ利用可能とします。(市外への移動、市外からの移動は利用不可とします) ◆タクシー乗車券の有効期限は、購入時から3か月とします。 ◆購入できる方には、購入引換券を送付します。 ◆深夜料金、呼び出し料金は利用者負担となります。 ◆1回の乗車に着き、乗車券1枚利用可能となります。

※初乗り運賃分・・・小型者の初乗り運賃である690円又は(1社のみ650円) (南加賀交通圏各社の設定料金)

※初乗り運賃で乗車可能な距離 1.458km

タクシー乗車券付シニアパス券(イメージ)



### 3. 参画（予定）事業者

南加賀交通圏準特定地域（川北町～加賀市）に所在するタクシー事業者10社に、本社会実験事業への参画意向を調査。内8社の事業者様より、参画意向であることを回答いただいております。参画事業者様の小型車所有台数は、155台となります。

番号	事業者名	営業所地	初乗り運賃			所有車両				小型車台数
			ジャンボ	中型	小型	ジャンボ	中型	小型	一般合計	
1	石川交通(株)	小松	830	700	690	2	6	42	50	42
2	大和自動車交通(株)	辰口	830	700	690			5	5	5
		小松空港	830	700	690	2	1	12	15	12
3	加賀第一交通(株)	本社	830	700	690	10	11	24	45	24
		小松	830	700	690	1	4	9	14	9
4	小松タクシー(株)	本社	830	700	690	1	1	13	15	13
5	協和タクシー(株)	本社	—	700	690		2	12	14	12
6	(有)石川相互自動車	本社	770	650	650	1	2	12	15	12
		小松	770	650	650	1	3	3	7	3
7	手取タクシー	辰口	830	700	690			1	1	1
8	加賀タクシー(株)	粟津	830	700	690			5	5	5
		本社	830	700	690	1	3	17	21	17
合計									249	155

### 4. 社会実験実施期間

- ① 実施期間：平成30年7月2日（月）～平成31年3月31日（日）まで
  - ② 販売期間：平成30年7月2日（月）～平成30年12月28日（金）まで 市役所各窓口で販売
- ※発効日（利用開始日）が、平成30年12月31日（月）までの定期券を発行します。（社会実験の為、平成31年3月31日までの事業となる為）

### 5. 社会実験中の効果検証

- ① 購入者の調査：本社会実験の該当定期券を購入の方に、アンケート調査を実施（利用予定の頻度や、目的等を調査）
  - ② 購入者の利用後調査：利用の関する意見、これまでの外出頻度との変化、移動範囲や移動先の変化等を調査
  - ③ のみバス車内等でのフリーアンケート（購入者以外の方にも意見を聴取）
  - ④ 窓口でのアンケート調査等
- ※ 平成30年度実施の公共交通の検討業務に実績や意見を反映させる。

## 6. 市民への周知

- ① 市の広報（広報誌等での周知）
- ② 町会・町内会長会での周知
- ③ 老人会への周知
- ④ 事業周知用のチラシを作成し全戸配布、市関連施設等での掲示案内
- ⑤ バス車内での周知